

**平成30年度進行管理・評価シート**  
**竹田市歴史的風致維持向上計画（平成26年6月23日認定）**  
（最終変更平成29年3月31日）

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 建物修景補助事業	.....	3
2 旧竹屋書店保存修理事業	.....	4
3 吉川家住宅保存修理事業	.....	5
4 史跡岡城跡保存整備事業	.....	6
5 西光寺境内保存修理事業	.....	7
6 電線類無電柱化事業	.....	8
7 道路美装化事業	.....	9
8 城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業	.....	10
9 歴史資料館等公開活用整備事業	.....	11
10 城下町回遊館整備事業	.....	12
11 竹田荘公園等整備事業	.....	13
12 風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)	.....	14
13 駐車場整備事業	.....	15
14 城下町路地裏整備事業	.....	16
15 城下町老朽危険空き家等除却促進事業	.....	17
16 城下町空き家・空き店舗再生促進事業	.....	18
17 城下町案内ガイド養成事業	.....	19
18 城下町・岡城跡歴史学習事業	.....	20
19 城下町案内マップ等制作事業	.....	21
20 城下町移住定住支援事業	.....	22
21 城下町・岡城跡回遊促進事業	.....	23
22 民俗芸能等支援事業	.....	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理に関する事項	.....	25
2 文化財の保存又は活用に関する事項	.....	26
3 文化財の周辺環境の保全に関する事項	.....	27
4 文化財の防災に関する事項	.....	28
5 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項	.....	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 城下町の歴史文化拠点施設の整備について	.....	30
2 城下町の空き家・空き店舗の活用について	.....	31
3 文化財等の学習・情報発信について	.....	32
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 計画認定による観光客数の推移について	.....	33
□法定協議会等におけるコメント(様式4)	.....	34

評価軸①-1  
組織体制

	評価対象年度	30年度
項目	現在の状況	
計画推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課・総合まちづくりセンター、文化財保護部局の文化財課が計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト庁内会議」を計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観審議会を3日実施した。審議会では再生可能エネルギー発電設備についての協議、設置に関するガイドライン及び要綱の制定等について審議を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第6回竹田市景観審議会の様子(H30.7.3)

平成30年度中に開催した竹田市景観審議会の内容

	開催日	主な議題
第6回	H30.7.3	・景観形成重点地区(城下町地区)内における公共施設の建設予定について
第7回	H30.11.29	・保全建物の指定について ・再生可能エネルギー発電設備の設置に関する市の対応について
第8回	H31.2.25	・再生可能エネルギー発電施設の設置に関するガイドライン及び要綱の制定について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	29年度
項目	現在の状況	

景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点である。山城であった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田区域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。

平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つ町となった。

しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。

このような背景のもと、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、平成27年度に竹田市景観計画を策定した。竹田市景観計画は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくり及び歴史的風致に配慮したまちづくりを進めるための計画である。

個性ある自然景観、歴史・文化の景観、くらしの景観が市全域に広がっていることから、市全域を景観計画区域とし景観形成を行う。また、岡城、城下町、それらの周辺地域は、史跡等環境保存条例により、これまで歴史的文化遗产の保存が重点的に取り組まれてきており、竹田市歴史的風致維持向上計画においても重点区域としている。このため、本計画においても「景観形成重点地区(地区名は城下町地区とする)」として位置づけ、より詳細な景観誘導を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は景観計画区域の届け出が63件あった。申請内容については建築物の修景や落石防護柵の設置などであったが、色彩等について調整することで城下町地区や岡城周辺の歴史的風致にあったまちなみを維持することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観条例、景観計画遵守の徹底を行う。

状況を示す写真や資料等

平成30年度竹田市景観計画区域内行為の届出

行為の種類	件数
建築物の建築等	10
工作物の新設等	41
開発行為	3
土地の形質変更等	5
木竹の伐採	4
物件の堆積等	0

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
建物修景補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)

計画に記載している内容  
 竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。  
 竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年に城下町である中心市街地内に計画された東西南北に縦横断する都市計画道路を廃止し、400年続く町割り、景観、風致を活かしたまちづくりを強化した。近年では、旧都市計画道路沿線地域から「まちづくり協定」を締結する地区が出てきており、建物修景事業の要望・着手が行われるようになっている。

平成30年度建物修景事業:13件実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 今後も計画に沿った事業推進を図っていく。

状況を示す写真や資料等

建物修景事業(中本町)

修景前



修景後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
旧竹屋書店保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治32年に建造された旧竹屋書店(登録有形文化財:佐藤家住宅)の店舗兼主屋・土蔵について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、地場産品の販売や休憩施設として活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物の所有者との保存修理に関する意見交換及びスケジュール調整を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建物の老朽化が進展しているため、令和2年度の修理着手に向けて、確実に所有者との調整を図っていく。 計画期間の変更を行い事業完了に向けての取り組みを行う。

状況を示す写真や資料等



旧竹屋書店現況

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
吉川家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・補修工事(単独)

計画に記載している内容 大正11年に建造された吉川家住宅(登録有形文化財)の主屋・土蔵・倉庫について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理工事を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、観光案内や休憩施設として活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

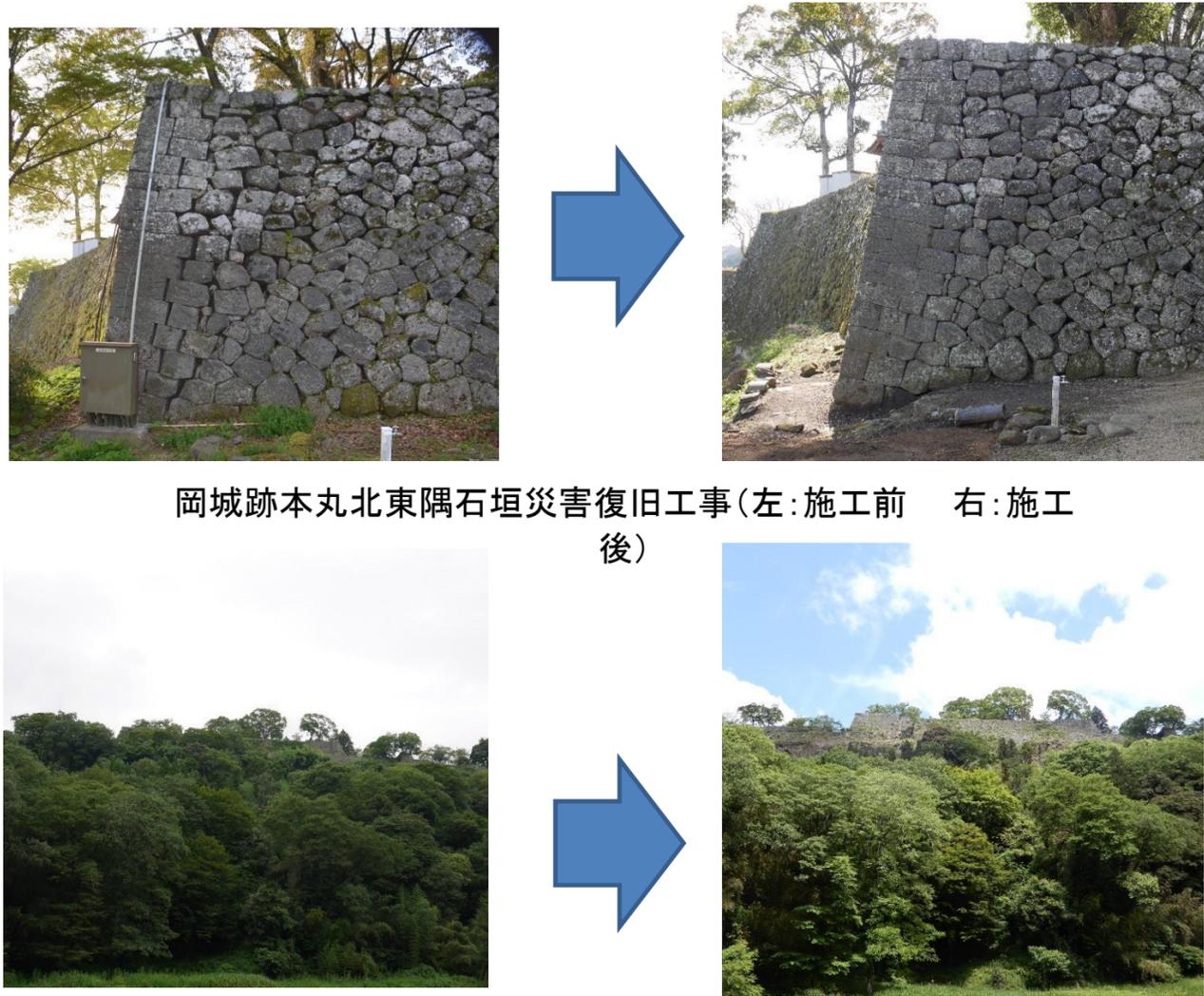
保存修理工事の完了している倉庫一で現在染物屋の工房として活用し、公開活用を実施している。近年では、まち歩きのポイントの一つとして定着、来訪者が増加している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	主屋及び倉庫一については、整備は完了しているが、歴史的風致の維持向上を図るため、倉庫二・三の活用方針を方向付けし、保存修理工事に向けた取り組みを進めるため、事業期間を延長する必要がある。

状況を示す写真や資料等



吉川家住宅倉庫一活用状況

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	30年度							
項目		現在の状況								
史跡岡城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手								
事業期間	昭和63年度～令和5年度									
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金									
計画に記載している内容	文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。									
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で										
平成28年熊本・大分地震被害(下原門東櫓・本丸北東隅石垣)の災害復旧事業を実施した。また、修復現場を公開し、震災復興のシンボルとして説明会を実施した。また、岡城の魅力の本質である石垣の景観整備として、支障木の伐採を実施しており、大手旅行情報会社の「日本の城ランキング」で5位になるなど知名度の上昇に繋がっている。こうした効果により、岡城跡の入場者数は震災の影響で前年比約2万人の減となっていたが、回復傾向に転じている。										
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		現在策定中の岡城跡保存活用計画により、保存・整備・活用の方向性を確立する。								
状況を示す写真や資料等										
 <p>岡城跡本丸北東隅石垣災害復旧工事(左:施工前 右:施工後)</p> <p>岡城跡景観整備事業(左:実施前 右:実施後)</p>										
岡城跡年度別入場者数(H21～H30)										
年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
入城者数	85,990	71,042	67,130	76,148	68,326	76,941	75,344	53,481	59,834	60,000
備 考						計画認定		熊本地震		

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	30年度
項目	現在の状況	
西光寺境内保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 大分県文化財保存事業費補助金・竹田市文化財保存事業費補助金

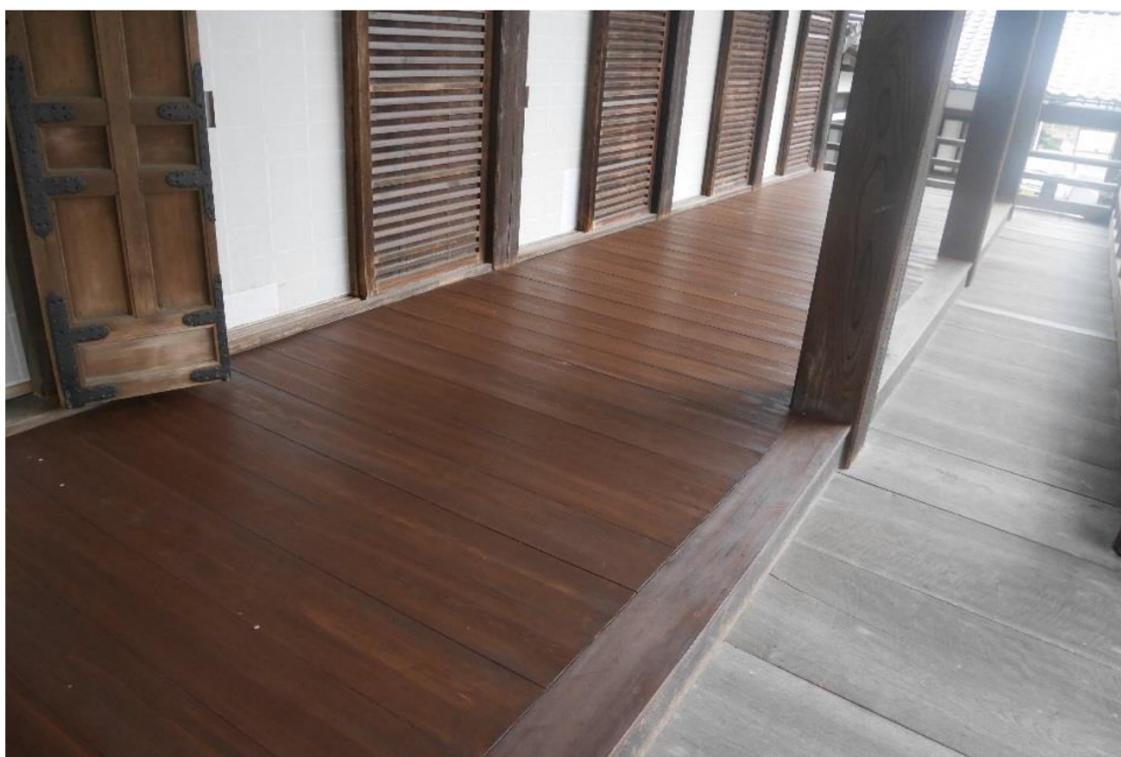
計画に記載している内容 岡藩主中川家とかかわりの深い西光寺は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための御成門及び本堂の保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

腐食や破損があった西光寺本堂縁廻り及び建具等の保存修理(H28～H30)、修復現場の公開(現場説明会)を実施した。今後は、他の施設と連携した公開活用を展開していく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該建築物の公開活用を図るとともに、まち歩きのポイントとして他施設との連携を図っていく。

状況を示す写真や資料等



保存修理状況(復旧状況)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(H26)、社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)(H27)

計画に記載している内容  
 竹田城下町の良好な景観形成を推進するため、市道本町八幡川・府内町・代官町・向丁・横町線を対象に、城下町全体の周辺の景観に調和した舗装整備を行うため、測量設計及びカラー舗装工事を実施する。  
 竹田城下町は、多数の指定文化財等が集積するなど多くの歴史的遺産が残されている。本事業を実施し、城下町一円の道路美装化を行うことで、道路景観の改善を図るとともに、こうした歴史的遺産を城下町の情景に合った道路整備を行うことで、城下町のまちなみの連続性の保全が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度の道路美装化箇所は、平成29年5月にオープンした新市立図書館周辺道路(向丁線・代官町線)の美装化及び電線類無電柱化事業に伴う本町線について実施した。文化の拠点施設と周辺景観づくりにより、相乗的な効果が発揮されるよう配慮している。

道路美装化事業:平成30年度実施3路線  
 市道向丁線(L=55m) 市道府内町線(L=106m) 市道本町線(L=400m)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

今後も計画に沿った事業実施を行う予定であり、事業期間の延長が必要である。

状況を示す写真や資料等

道路美装化

美装化(府内町線)



美装化(本町線)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
電線類無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市道本町通線及び駅前線では、歩行に支障をきたしている電線類等を無電柱化し、歩行空間と景観形成を行い、歩いて楽しい道路を整備する。また、メインストリートとして、再整備し、城下町の拠点の一つである中心市街地の賑わいを取り戻すため、測量設計・舗装整備・電線類無電柱化工事・歩道整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度に工事を施工した本町通電線共同溝(約400m)の道路美化化及び駅前電線共同溝(約400m)の設置工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和元年度に駅前電線共同溝区間の美化化、電柱類の撤去を実施する。

状況を示す写真や資料等



美化化が完了した本町通



駅前電線共同溝設置後の中本町通

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 街路灯・案内看板・道路標識等を統一した色合いやデザインにすることにより、城下町の景観形成の向上を図るため、街路灯等基本計画・街路灯等撤去・設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

電線類無電柱化区間の観光案内板や道路標識、街路灯整備などの調整は必須事項であり、道路管理者や警察署、地元商店街など関係機関と景観に係る統一的な連携協議を進めている。平成30年度は実施設計業務が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化事業の進捗とあわせて、事業を推進する。

状況を示す写真や資料等



街路灯整備予定箇所(下本町)

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	30年度
歴史資料館等公開活用整備事業	現在の状況	
	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容  
 歴史資料館で保管、保有する貴重な資料の整理を行い、図書館と併せて歴史的文化的遺産の集約的な分類整理を行い、未整理資料の調査研究を効率的に行うとともに、公開活用を図っていく。またその一環として、文化・情報・生涯学習の拠点及び城下町の中核施設として位置づけられている竹田市立歴史資料館(昭和55年建設)及び竹田市立図書館(昭和35年建設)の再整備を行う。また、岡城跡や城下町に関する総合的な情報提供を行うガイダンス機能を備えた文化観光拠点施設としても整備を実施し、主要観光施設である岡城跡と城下町をつなぎ、岡城跡を訪れる来訪者を城下町へ誘う役割を担う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史文化交流センター(歴史資料館・岡城ガイダンスセンター)の建設を実施(R1年完成、R2年開館予定)。また、本市の文化行政の拠点となる竹田総合文化ホールも竣工(平成30年10月7日開館)し、H30年度大分県で開催された国民文化祭では様々な文化行事の会場として活用された。H29に開館した新市立図書館は、旧図書館時代の約2倍の利用者数を維持している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本市の文化行政の拠点施設となる新市立図書館、歴史文化交流センター、竹田総合文ホール及び城下町交流プラザについて、密接に関係する4施設の連携した運営を目指し進めていく。

状況を示す写真や資料等



建設が進む歴史文化交流センター

### 市立図書館利用実績

年 度	H27	H28	H29	H30
利用人数	38,023	32,011	66,342	72,973
備 考	旧図書館	旧図書館	新図書館開館	



城下町歴史文化交流センター基本設計説明会の様子



建設が進む竹田総合文化ホール

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町回遊館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)・発掘調査(単独)

計画に記載している内容 城下町の中心部に位置した場所に、城下町を訪れる来訪者の為の案内施設及び地域住民の文化拠点施設とし、誰もが気軽に訪れ交流を深めることができ、中心市街地の賑わいを創出できるような施設整備を行う。整備については、公有財産購入・発掘調査・地積調査・基本及び実施設計・本体工事及び来訪者用駐車場を用地取得・区画線工事・車止めなどを整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町交流プラザは実施設計業務が完了し、建設工事の発注を実施した。(令和元年度中のオープン予定)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	入札不調とうにより、事業実施に遅れが生じたため事業期間の延長が必要である。また、完成後は、市立図書館・歴史文化交流センター・竹田市総合文化ホールとの連携した運営を目指し検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等



城下町交流プラザ建設予定地



城下町交流プラザ完成予想図

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
竹田荘公園等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 地域住民・来訪者にとって憩いの場である竹田荘公園(昭和62年整備)及び稲葉川やすらぎ公園(平成14年整備)は、休憩施設及び遊具等が老朽化しており、再整備が必要となっている。基本構想・実施設計・植栽舗装工事・遊具休憩施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

竹田市総合文化ホールに隣接する、都市公園(竹の子ひろば)を建設整備した。市の文化芸術の拠点となる竹田総合文化ホールに連動・連携した相乗効果を狙いとするとともに、城下町との接続点として役割効果が表れている。また、樹木により景観を著しく阻害していた竹田荘公園の剪定作業等を実施し、利用しやすい公園を目指して整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	園路整備等未実施の事業があるため、事業期間の延長が必要である。また、竹田荘公園は、建設中の歴史文化交流センターとの連携が必要である。

状況を示す写真や資料等



オープンした「竹の子ひろば」



景観整備をした竹田荘公園

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

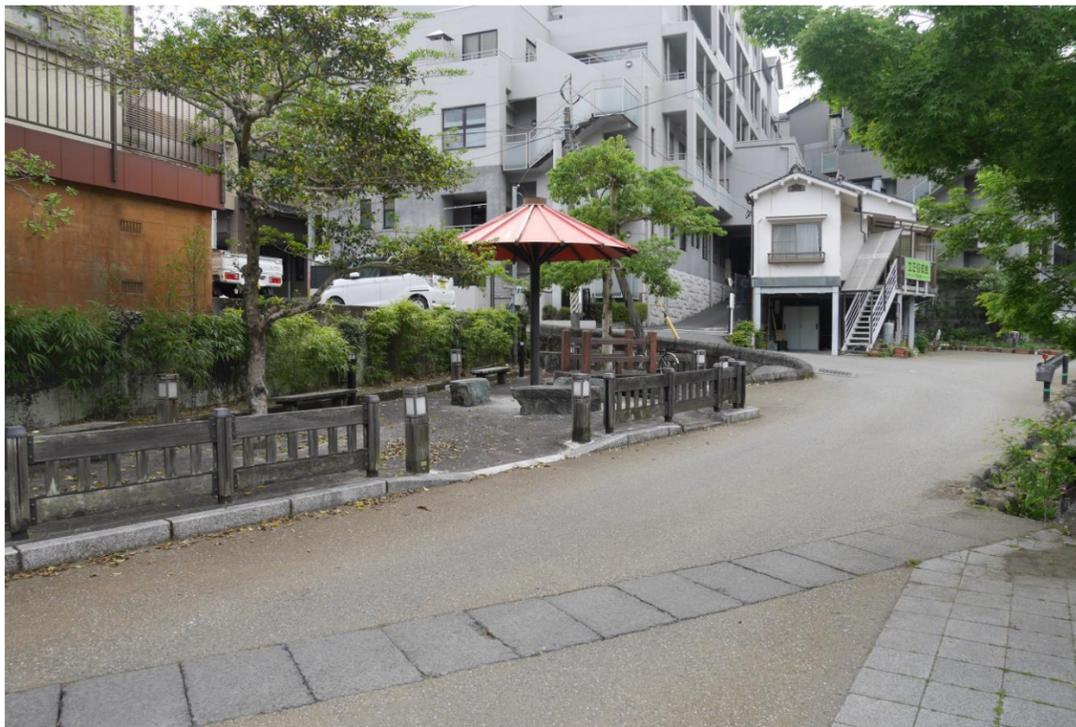
計画に記載している内容 歩いて楽しい城下町を目指し、空き家や空き地を活用し、子どもたちが安心安全に遊べ、地域住民・来訪者が憩えるポケットパークを整備するため、植栽・舗装工・遊具・休憩施設の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業推進は行っており、対象となる空き地等を検討中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ポケットパークの設置場所は、城下町回遊の主要ルート上(空き地があっても、通行の少ない場所では事業効果が少ない)での設置が望ましいことから、設置場所の設定にあたっては、住民及び関係機関と協議を行い決定し、事業期間を延長して実施する。

状況を示す写真や資料等



既存のポケットパーク(慶順町)



既存のポケットパーク(寺町:瀧廉太郎記念館前)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
駐車場整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 来訪者のために、城下町における駐車場配置計画及び実施設計・駐車場整備工事を行い、城下町の快適性・景観形成に配慮し、地域住民・来訪者等の満足度の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市営ふれあい駐車場の再整備を実施した。昨年度に引き続き、中心市街地の駐車場の現状と今後の方向性及び城下町における効率、効果的な車輛の誘導について検討を進めてきた。また、建設中の施設駐車場(歴史文化交流センター・城下町交流プラザ)との連動について併せて検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
 計画どおり進捗していない

駐車場設置について、限られた空き地を効率よく使用するために、ポケットパーク設置等の他の事業推進と連携し、計画を進めてきた。また、新規整備施設(歴史文化交流センター・城下町交流プラザ)の駐車場整備も含めて計画を推進するため事業期間延長が必要である。。

状況を示す写真や資料等



ふれあい駐車場再整備前



ふれあい駐車場再整備後

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町路地裏整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 民地等を活用し、敷地の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で道路美装化等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

対象となる裏路地候補地について事業実施の可能性について、検討を進めてきた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回遊性を重視した事業であるが、個人所有の敷地等を利用するため、十分に住民との意見調整を図り、事業実施箇所の特定を進め、事業期間を延長し実施する。

状況を示す写真や資料等



裏路地整備の例

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町老朽危険空き家等除却促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は6件(重点区域内1件)の老朽危険家屋除去を実施、安全な景観保全するとともに、城下町の景観風致の向上を図ることができた。今後も、必要に応じ実施していく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

街並み景観や歴史的風致の維持向上に直接的に関係する事業であり、事業期間を延長し積極的な取組を行っていく。

状況を示す写真や資料等

実施場所: 岡城通り

撤去前



撤去後



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町空き家・空き店舗再生促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 単独事業

計画に記載している内容 空き家や空き店舗の有効活用をととして、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図ることを目的に、再生に必要な改修等に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は、1件実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

継続的な取組みと、まちの賑わい創出に向けた商店街や地域の連携を図りつつ進めていく。また、事業期間を延長し、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



空き店舗を利用し開館した「みんなのいえカラフル」

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町案内ガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	観光ボランティアガイド・岡城子どもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「岡城たのしみ隊」及び「岡城武者揃」等の団体の活動に対し支援を行った。岡城子どもガイドの育成(1名、ガイド実習年6回・ガイド研修年2回)を実施した。こうした取り組みにより、市民参加を図るとともに、岡城跡や城下町への来訪者増加に寄与できている。 岡城子どもガイド実績 ガイド総数15名(H25～H30 中学生以下)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		児童数の減少により、岡城子どもガイド希望者の減少が懸念されることから、学校現場との連携など募集内容の見直しを進めていく。	

状況を示す写真や資料等



岡城子どもガイド勉強会の様子



観光客へ説明を行う岡城子どもガイド

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町・岡城跡歴史学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に收藏される古文書の読み下しを行う古文書解説講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会(由学館セミナー等)を実施し市民を対象としたに郷土学習の機会を設ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

主な開催した講演会・講座事業  
 ・「豊後国志」訓読本出版記念「唐橋君山の遺業に学ぶ」(H30.6.17 参加者集約100名)  
 ・「歴史・文化を活かしたまちづくり」(H30.9.20 参加者集約30名)  
 ・「竹田で出会う美しい日本トークイベント『消えゆくものと、芽吹くもの～竹田から始まる旅～』」(H30.10.13 参加者数約400名)  
 ・岡城跡下原門跡石垣修復現場説明会(2回開催)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
 ■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない  
 今後も市民を対象とした、各種講演会や講座を計画的・継続的に開催していく。

状況を示す写真や資料等



豊後国志」訓読本出版記念「唐橋君山の遺業に学ぶ」



岡城跡石垣修復現場説明会の様子

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町案内マップ等制作事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 単独事業

計画に記載している内容 城下町を訪れる来訪者に対し、回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し配布する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町を訪れる観光客に対し、案内マップや各種パンフレットを配布し情報提供を行うことで、効率よく城下町の散策が可能となり、回遊性の向上につながった。平成30年度は、各種の案内マップ等の内容充実のほか、移住者向けのガイドブック等の作成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップを作成する。

状況を示す写真や資料等



移住・定住者向けのガイドマップ

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町移住定住支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 単独事業

計画に記載している内容 城下町で様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

インキュベーション型工房・竹田総合学院(TSG)や市内各所で制作活動を行っている作家の定住、地域ブランドの発信を目指し、作品の販路拡大や交流を目的に展示販売の場「アート・クラフトフェア in TAKETA」を開催。全国より応募のあった61組から選考された27組の作家が出展(うち市内作家5組)。陶磁や木工、染織物など1000点を超える作品が並び、多くの来場者が訪れた。またギャラリーオーナーや百貨店のバイヤー誘致、マッチングツアーなどを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

アートレジデンスを通じて、若手の作家・芸術家が活動拠点として竹田市へ定着を図るよう取り組みを進めていく。今後も継続した取り組みが必要であるため、事業期間を延長して実施する。

状況を示す写真や資料等



「アート・クラフトフェア in TAKETA」の様子

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
城下町・岡城跡回遊促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年から引き続き「岡城登城バス」の運行を行っている。また、城下町の回遊性向上のため周遊バス(期間限定「週末おでかけバス」)の運行実験を実施した。実験の結果、竹田駅、総合文化ホール、岡城において乗降客が多く、周遊バス運行は竹田駅から岡城跡や総合文化ホールへの移動手段として有効であることが確認された。

平成30年度登城バス利用実績 延べ 3,426名(H31.3末) 平成30年度レンタル自転車利用実績 400台(H31.3末)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

岡城跡から城下町への相互の移動手段に係る手法構築の検討を進めていく。

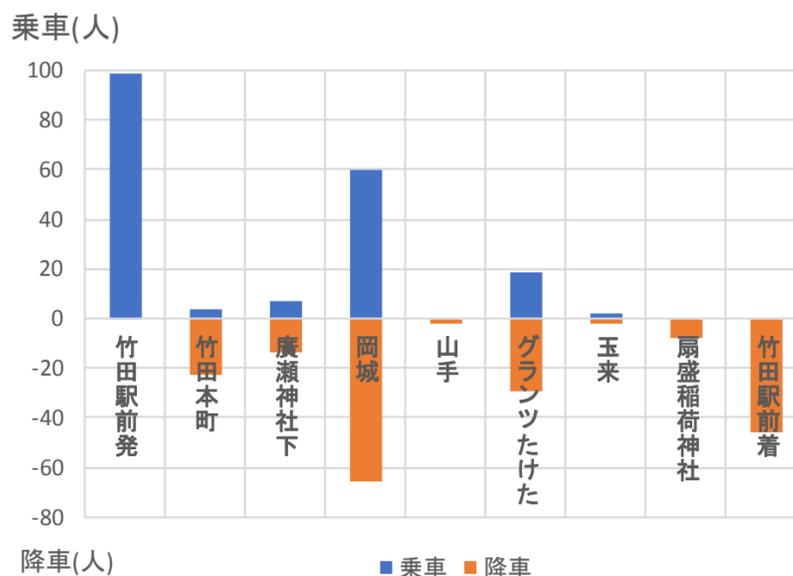
状況を示す写真や資料等

岡城登城バス運行実績

	H27	H28	H29	H30
運行日数(日)	121	49	56	70
利用者数(人)	6204	3013	4295	3933



岡城登城バス



「週末お出かけバス」バス手別乗降者数

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	30年度
		現在の状況	
民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成15年度～令和5年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	竹田市内で伝承活動を行う民俗芸能保持団体に対し、用具の整備や担い手の育成に対する支援及び調査や記録保持(記録映像撮影等)を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
次代の担い手の育成のため、子供神楽等の団体へ助成(平成29年度 3団体)を行ったほか、コミュニティー助成事業を活用し民俗芸能や伝統行事の用具整備(H30年度2件)を実施した。こうした支援により、伝統芸能継承意識・意欲の向上が図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		平成25年度までに市内51団体ある民俗芸能保存団体のうち、41団体の記録映像撮影が文化庁の補助事業等を活用し完了している。残りの団体の記録映像撮影を早急に行うことに加え、伝承活動に必要な用具等の整備を行う必要がある。	

状況を示す写真や資料等



助成事業により整備した、獅子頭や太鼓等を用いて伝統芸能の継承を実施

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	30年度
		現在の状況	
文化財の修理に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡岡城跡災害復旧事業を実施した。(P5に記載)  
 西光寺境内保存修理工事を実施した(P7に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

岡城跡の地震被災箇所の復旧工事、西光寺境内の保存修理工事など着実に実施してきた。今後も文化財の保存修理を進めていくとともに、合わせて公開活用を図っていく。

状況を示す写真や資料等



岡城跡石垣災害復旧工事の様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れやすい環境づくりを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物修景補助事業(P3に記載) 吉川家住宅保存修理事業(P5に記載) 史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載)  
 歴史資料館等公開活用事業(P11記載) 城下町・岡城跡回遊促進事業(P23記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

建設中の歴史文化交流センターは岡城跡のガイダンス機能を持つことから、城下町と岡城跡を繋ぐ手法の検討構築を図っていく。

状況を示す写真や資料等



支障木を伐採した岡城跡本丸付近



建設中の歴史文化交流センター

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	30年度
文化財の周辺環境の保全に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美化事業(P9に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P17に記載) 城下町空き家・空き店舗再生促進事業(P18に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	電線類無電柱化に合わせて、案内板・標識・街路灯についても整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等

美化の例



市道府内町線

危険老朽家屋除去の例



危険老朽家屋の除去(左撤去前・右撤去後:岡城通り)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	30年度
項目		現在の状況	
文化財の防災に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るよう努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元自治会・消防本部・消防団と共同で、文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を実施した。  
 平成30年度:平成31年1月27日 史跡岡藩主中川家墓所

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行っていく。

状況を示す写真や資料等



岡藩主中川家墓所での防火訓練の様子

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	30年度
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容、市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座をつうじて地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史資料館等公開活用整備事業(P11に記載) 城下町ガイド養成事業(P19に記載) 城下町・岡城跡歴史学習事業(P20に記載) 城下町案内マップ等制作事業(P21に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

完成する歴史文化交流センターを有効活用し、歴史・文化の啓発、向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



研修を終え、ガイド認定書を渡された岡城子どもガイド



岡城跡修復現場説明会の様子

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		30年度
竹田の城下町交流拠点施設 市民説明会で活発な意見	2018.4.15	掲載紙等 大分合同新聞
昨年新築移転の竹田市立図書館 入館者が10万人突破	2018.9.8	大分合同新聞
昨年開館の竹田市立図書館 利用者10万人に	2018.9.22	朝日新聞
歴史文化交流センター 竹田市で起工式	2018.12.7	大分合同新聞
資料館跡に交流センター 竹田 来年9月完成目指す	2018.12.8	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史・文化・情報・生涯学習の拠点施設を城下町再生の中核施設として再整備を実施した。市立図書館(利用者が開館1年半で10万人)、歴史文化交流センター・城下町プラザ(令和元年度完成)、竹田総合文化ホール(平成30年オープン)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	城下町再生の拠点施設の整備について、報道関係への周知を図っていく。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑤-2

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		30年度
商店街に「みんなのいえ」 地域おこし協力隊・奥さん竹田に開所	2018.10.10	大分合同新聞
年齢や障害に縛られぬ”家” 竹田にフリースペース「カラフル」開所	2018.10.10	大分合同新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き店舗を活用し気軽に立ち寄れるフリースペース「カラフル」が開所し、城下町に新たな交流の場ができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後も空き家、空き店舗の活用を進めていく。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度
		30年度
「知性的で遊び心ある地誌」竹田市で「訓読豊後国志」出版記念講演	2018.6.18	大分合同新聞
子どもガイド「岡城の良さ伝えたい」	2018.12.21	大分合同新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史文化の啓発、歴史学習の一環として、講演会や子供ガイド養成講座を開催し郷土学習の機会を設けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史文化を対象とした講演会や文化財の現地説明会を、今後も継続的に開催していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度		30年度
項目		
計画認定による観光客数の推移について		
計画に記載している内容	来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
あり、入場者数は減少しているものの、他の施設では横ばいもしくは向上しており、平成28年の熊本地震以降大幅に減少した観光客数は、着実に回復傾向にある。 また、平成30年10月に中心市街地近傍に竹田市総合文化ホールが開館し、来場者数は57,973人、平成29年10月に開館したキリシタン研究所は、本年度は10,153人、令和元年度には歴史文化交流センター、城下町プラザも完成する。今後、この来場者が中心市街地を利用することにより、観光客数の更なる増加が見込める。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	平成28年の熊本地震により落ち込んだ観光客数も回復傾向にある。また、新たな文化施設の建設も進めていく。	

状況を示す写真や資料等



岡城桜まつりでの大名行列・武者行列の様子



城下町内6観光施設(花水月、瀧廉太郎記念館、旧竹田荘、岡城跡、佐藤義美記念館、歴史資料館)の年間入場者数

評価対象年度 30年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 竹田市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和元年5月24日(金)

(コメントの概要)

竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について

委員からの主な意見

- ・岡城跡の情報発信をガイドブック等を活用して、しっかり行ってほしい。
- ・岡城跡の環境整備をボランティアで実施している団体への助成は出来ないのか。また、行政主体の環境整備と民間主体の環境整備があるが、官民共同で実施するべきでは。
- ・空き家の再利用について、改装時に梁や柱を外している例が一部に見られる。
- ・歴史的風致の維持向上には、次世代の人材育成が課題であるため、成功事例を参考に検討をするべきでは。



竹田市歴史的風致維持向上協議会の様子

(今後の対応方針)

- ・計画進捗評価については、意見及び提案事項について検討し、今後の事業推進に活かしていく。
- ・行政と民間で別々に事業実施をおこなっているものについて、連携して実施する事により効果が期待できるものについては、連携強化に向けた取り組みを行う。
- ・修景事業や空き家空き店舗の再利用時に、ガイドラインに沿った改修が行われているか確認するチェック機能を設ける。